

かがやき

発行日 平成30年3月1日
発行者 西中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市倉敷西公民館
倉敷市八王寺町199-3
Tel・Fax 086-424-3610
E-mail ph-kuranishi@kurashiki-oky.ed.jp
http://www.kurashiki-oky.ed.jp/ph/kuranishi

人権作品表彰式

平成29年12月10日(日)、西中学校区の小学校、中学校から推薦されたたくさんの児童・生徒人権作文・標語・ポスターの中から選ばれた優秀作品表彰式を行いました。

表彰式では、作文の朗読や標語・ポスターへの「思い」も発表しました。小学生・中学生が日常の生活を通して気づいたり、考えたりした人権についての「思い」が伝わり、参加された大勢の地域の方々や保護者、学校の先生方に感動を与えました。この「思い」を地域や家庭、学校で大切に育て、人権が尊重される社会の実現につなげていきたいと感じる表彰式でした。

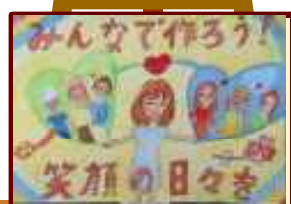


作文の部

「見ただけ
聞いただけ」
倉敷市立老松小学校
6年 藤原 彩未さん



ポスターの部



倉敷市立中洲小学校
5年 安積 星奈さん



倉敷市立倉敷西小学校
6年 菅田 小咲蘭さん



倉敷市立西中学校
2年 小川 萌華さん



倉敷市立万寿小学校
5年 森田 真央さん

標語の部

「君のたったの一言で
『キズナ』のつもりが
深い『キズ』」
倉敷市立万寿小学校
6年 高瀬 うららさん

「大丈夫
一人と思うな
みんないる」
倉敷市立西中学校
1年 高橋 亜弥さん



倉敷市立老松小学校
1年 田中 優有さん

「笑おうよ
君の笑顔は
たからもの」
倉敷市立中洲小学校
5年 石山 摩里巳さん

「『ありがとう』
『ごめんね』は
人をつなぐ
まほうの言葉」
倉敷市立倉敷西小学校
3年 原 梨乃さん

「やさしさは
ともだちふえる
おまじない」
倉敷市立老松小学校
4年 貝吹 悠真さん



叱って、誉めて みんなで 生きる力を伝えよう！



10月25日(水)、「皆さん、笑っていますか？子どもにイライラしていますか？」の言葉から、子育てアドバイザーの熊丸みつこ先生の子育て講演が始まりました。子どもは大人の思い通りにならない。だからイライラするのは順調な証。『イライラする自分もイライラする子どもも順調！』をキーワードに先生の体験談を織り交ぜながら、様々なお話を聞かせていただきました。

人には、笑顔や優しさ、言葉など様々なタンクがあり、それぞれのタンクがいっぱいになると行動(姿)として表に出てきます。しかし、このタンクを満たすのは親だけではなく家庭や園や地域の人など全ての大人のかかわりも必要です。手間暇をかけて育てることで、生きる力の土台を身につけていきます。子どもにかかわる全ての大人が生きる力を伝えていく必要があることなどを教えていただきました。

【熊丸みつこ先生】

講演の途中で隣の方と握手をして子育ての大変さを分か合いました。また、先生の楽しい話に大笑いしながら子育てのパワーと元気、勇気をもらいました。



ち



みんなで焼き芋パーティーをしたよ！



11月8日(水)に老松幼稚園で、地域の方や老松保育園のお友達と一緒に焼き芋パーティーをしました。地域の方の畑をお借りして育てたサツマイモは、とても大きく、いろいろな形がありました。

年長さんは、保育園のお友達や年中・年少さんのために、お店を開くことを決めて、友達と「どんなお店にしようかな。」と相談しながらお店の準備をしてきました。パーティーに向けて新聞紙やアルミホイルでサツマイモを包んだり、お店の看板を作ったりして準備しました。当日も「いらっしゃいませ。」「甘くておいしいですよ。」など、焼き芋屋さんになりきっていました。ほくほくあつあつの焼き芋はとてもおいしくて、楽しいパーティーができました。



ふれあいウォーク



11月18日(土)、すっかりしない天候でしたが、『第15回ふれあいウォーク』を開催することができました。本年度は、役員・ボランティアを含め 約650人の参加でした。

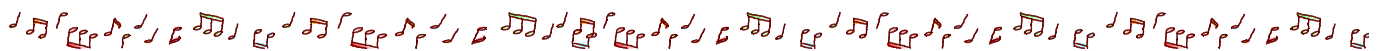
参加者は、Aコース(酒津散策・クラレ研究所コース：約5km)、新設されたBコース(倉敷大橋・酒津八幡神社：約8.5km)、Cコース(酒津ぶらぶらコース：約3km)に分かれ、地域の文化や雨上がりの紅葉を楽しみながら歩きました。



ゴールした後は今までの「カうどん」にかわり、今年から「キャンディすくい」。小さな子どもからお年寄りまで何個すくえるか挑戦しました。

また、酒津公園のゴミ拾いも行いました。帰りには西中学校の伝統ある校舎がプリントされた参加記念のミニタオルをいただきました。

今年もたくさんの方々が、「頑張って!」と声を掛けながら道中の安全を見守ってくださいました。地域の絆を実感する一日となりました。



老松ふれあいフェスタ



10月21日(土)、老松小学校で「老松ふれあいフェスタ」が行われました。

老松小学校PTAを中心に、おやじの会・倉敷工業高校・地域の有志の方などが出店しています。食べ物の出店だけでなく、倉敷工業高校の生徒による実験コーナーでは小学生たちが興味深そうに実験に取り組んでいました。また、体育館ではバザーが行われ、友愛セールの商品の他に手作り品も出品され大盛況でした。

どの店でも係の方々と子どもたちや家族連れの会話がはずみ、温かい雰囲気が感じられました。老松小学校笑顔一杯の一日となりました。

西中学校区人権学習推進委員会では、人権啓発のティッシュ配布を行いました。

【参加者の感想】○家族で楽しい時間を過ごすことができました。高校生の実験がおもしろかったです。

○「おやじの会」の焼き鳥がおいしかった。

中洲学区民祭



10月9日(月)体育の日に、第48回中洲学区民祭がイオン倉敷イオンホールで開催されました。

伊東市長のあいさつでスタートした学区民祭には、中洲小学校と西中学校の児童・生徒のダンスや地域で活動している団体の歌や踊りなどの発表がありました。

いろいろな発表から「継続は力なり」ということを強く感じました。続けていくことの大切さを教えていただきました。また、児童・生徒の一生懸命な発表も微笑ましく、特に高齢者の方に喜ばれました。

【参加者の感想】○どの発表も良かった。元気になりました。

○私も何かやってみようと思いました。



人権教育講演会

地域おこし協力隊の活動からみた地域の絆

1月21日(日)、矢掛町地域おこし協力隊隊長川上公一先生をお招きし、第2回人権教育講演会を開催しました。

最近メディア等で取り上げられることが多くなった矢掛町では、子どもたちを中心とした様々な取組が行われています。

地域の施設で職場体験を行う矢掛高校独自の学習を行う「やかげ学」や、矢掛町の小中高生で構成され子どもの視点で企画・運営をする団体「YKG60」など、子どもたちが積極的に地域に密着した活動をしたり、やりたいことに挑戦したりできる場がたくさんあります。



これらの取組を通して、子どもたちの成長はもちろん、子どもたちが町の将来について考え行動することで大人も触発され、さらなる地域の活性化が期待できると感じました。

参加者は、川上先生の軽快で楽しいお話を聞きながら熱心に聞いていました。「地域創造の主役は子ども」という理想のもと、どんどん新しい地域づくりを進めている矢掛町に学びたいものです。

に気づくことが多く、「年だから」を学ばせていただきました。

【参加者の感想】○あっという間。わくわくしながら次々ら!!」と言わず、行動することの大切